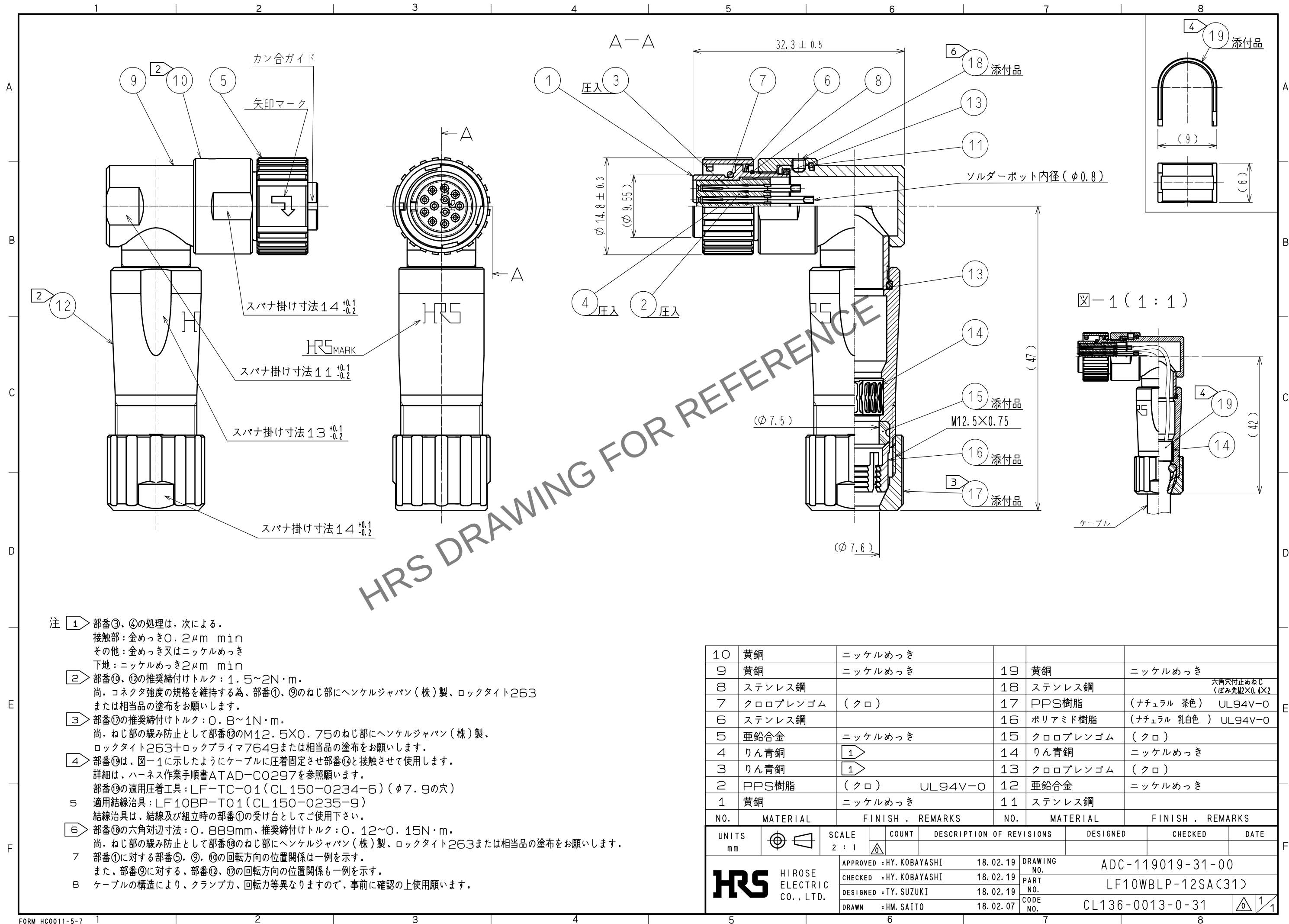


May.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.
本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問合せ下さい。



- 注 1 部番③、④の処理は、次による。
接触部：金めっき0.2μm min
その他：金めっき又はニッケルめっき
下地：ニッケルめっき2μm min
- 2 部番⑩、⑪の推奨締付けトルク：1.5~2N・m。
尚、コネクタ強度の規格を維持する為、部番①、⑨のねじ部にヘンケルジャパン（株）製、ロックタイト263
または相当品の塗布をお願いします。
- 3 部番⑩の推奨締付けトルク：0.8~1N・m。
尚、ねじ部の緩み防止として部番⑩のM12.5×0.75のねじ部にヘンケルジャパン（株）製、
ロックタイト263+ロックプライマ7649または相当品の塗布をお願いします。
- 4 部番⑨は、図-1に示したようにケーブルに圧着固定させ部番⑩と接触させて使用します。
詳細は、ハーネス作業手順書ATAD-C0297を参照願います。
部番⑨の適用圧着工具：LF-TC-01（CL150-0234-6）（φ7.9の穴）
適用結線治具：LF10BP-T01（CL150-0235-9）
結線治具は、結線及び組立時の部番⑨の受け台としてご使用下さい。
- 5 部番⑩の六角対辺寸法：0.889mm、推奨締付けトルク：0.12~0.15N・m。
尚、ねじ部の緩み防止として部番⑩のねじ部にヘンケルジャパン（株）製、ロックタイト263または相当品の塗布をお願いします。
- 7 部番①に対する部番⑤、⑨、⑩の回転方向の位置関係は一例を示す。
また、部番⑨に対する、部番⑫、⑬の回転方向の位置関係も一例を示す。
- 8 ケーブルの構造により、クランプ力、回転力等異なりますので、事前に確認の上使用願います。

UNITS	SCALE	COUNT	DESCRIPTION OF REVISIONS	DESIGNED	CHECKED	DATE
mm	2 : 1	△				
APPROVED : HY. KOBAYASHI			18.02.19	DRAWING NO. ADC-119019-31-00		
CHECKED : HY. KOBAYASHI			18.02.19	PART NO. LF10WBLP-12SA(31)		
DESIGNED : TY. SUZUKI			18.02.19	CODE NO. CL136-0013-0-31		
DRAWN : HM. SAITO			18.02.07			